

## 目次

## 基本的な操作

文字板の表示

モードを切り替える

各モードの概略

りゅうずを使う

針と日付の動き方について

充電する(ソーラー充電)

携帯電話と一緒に使う  
(モバイルリンク機能)

準備する

- ① アプリケーションをインストールする
- ② Bluetooth を設定する
- ③ ペアリングする

時計の時刻を自動で合わせる

ワールドタイムを設定する

ストップウォッチを設定する

ストップウォッチのデータを見る

アラームを設定する

針や日付の位置を補正する

携帯電話を探す

時計の各種機能を設定する

時計の設定をリセットする

ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

時計の充電量を確認する

接続

- 時計と携帯電話を接続する
- 時計と携帯電話の接続を解除する
- 病院内、飛行機内で使うとき
- ペアリングを解除する
- 携帯電話を買い替えたとき

## 時計の設定

日時を設定する

デュアルタイムを設定する

現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替える

## ストップウォッチ

スプリットタイムとラップタイムについて

計測する

スプリット計測する

計測中のラップタイムと目標値の差を確認する

目標値のタイプを変更する

報音の有無を設定する

レースのラップタイムを記録する(使用例)

## アラーム

アラームをセットする

アラームのオン/オフを切り替える

アラームを止める

## 針や日付の補正

針や日付の位置を補正する

## 海外に渡航するときは

## 補足

サマータイムの切り替えについて

対応機種

仕様一覧

モバイルリンク機能に関する注意事項

無線に関するご注意

商標、登録商標について

## 困ったときは

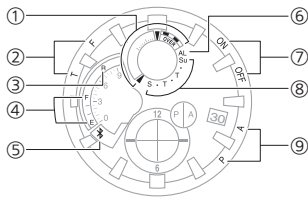
## 基本的な操作

時計の概要を説明します。

### 参考

- この操作ガイドに記載しているイラストは、視認性を考慮して実際のものとは異なる描写をしているものがあります。ご了承ください。

## 文字板の表示



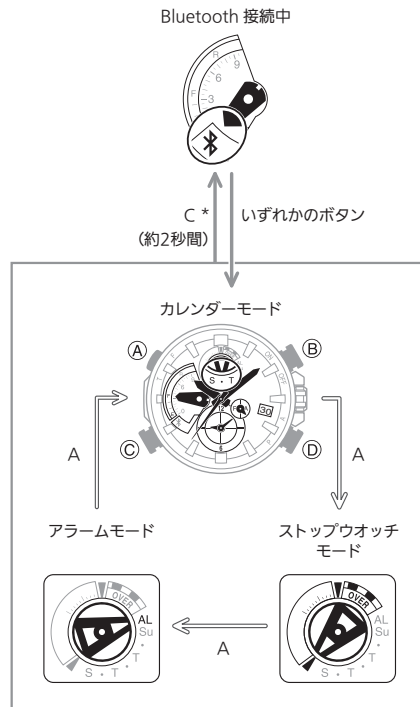
- ① ラップ到達度エリア**  
ストップウォッチモードのとき、モード針が計測中のラップタイムと目標値の差を示します。
- ② F/T マーク**  
ストップウォッチモードで、ラップタイムとの差を計測するための目標値のタイプを設定するときに、秒針が現在の目標値のタイプを示します。  
「F」: FASTEST (最速)  
「T」: TARGET (ターゲット)
- ③ R マーク**  
携帯電話と接続待機中のとき、レトログラード針が「R」を示します。
- ④ 充電量**  
カレンダーモードまたはアラームモードのとき、レトログラード針が充電量を示します。
- ⑤ ✱ マーク**  
携帯電話と接続中のとき、レトログラード針が ✱ を示します。
- ⑥ AL マーク**  
アラームモードのとき、モード針が「AL」を示します。
- ⑦ アラームの設定、ストップウォッチの報音設定**  
アラームモードのとき、秒針がアラームの設定状況を示します。  
「ON」: アラームオン  
「OFF」: アラームオフ  
ストップウォッチモードで報音を設定時に、秒針が報音の有無を示します。  
「ON」: 報音あり  
「OFF」: 報音なし
- ⑧ 曜日**  
モード針が現在の曜日を示します。

### ⑨ A/P マーク

現在地(ホーム都市)の時刻を設定するときに、現在の時計の時刻が午前か午後かを秒針が示します。  
「A」: 午前  
「P」: 午後

## モードを切り替える

この時計には、以下のモード(機能)がありません。



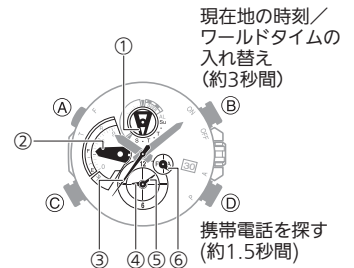
モードの切り替えは、A ボタンで行います。A ボタンを約 2 秒間押し続けると、カレンダーモードになります。携帯電話と接続するには、C ボタンを約 2 秒間押し続けます。

\* ストップウォッチ計測中は携帯電話に接続できません。

## 各モードの概略

### ●カレンダーモード

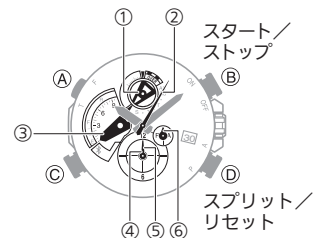
時針と分針が現在地(ホーム都市)の時刻を示し、小時分針がデュアルタイムを示します。



- ① 現在地(ホーム都市)の曜日
- ② 充電量
- ③ 現在地(ホーム都市)の秒
- ④ デュアルタイム時
- ⑤ デュアルタイム分
- ⑥ デュアルタイム 24 時間表示  
針が A の側のときは午前、P の側のときは午後を示します。

### ●ストップウォッチモード

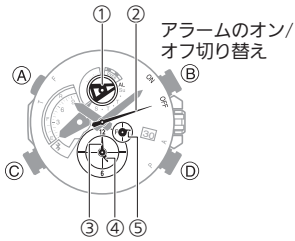
時針と分針が現在地(ホーム都市)の時刻を示し、それ以外の針がストップウォッチでの計測値を示します。



- ① ラップ到達度  
計測中のラップタイムと目標値の差を確認する
- ② ストップウォッチ秒
- ③ ストップウォッチ 1/20(0.05)秒
- ④ ストップウォッチ時
- ⑤ ストップウォッチ分
- ⑥ ストップウォッチ 24 時間表示  
針が A の側のときは計測値が 0~12 時間、P の側のときは 12~24 時間を示します。

## ●アラームモード

時針と分針が現在地(ホーム都市)の時刻を示し、小时分針がアラーム時刻を示します。



### ① モード

② アラームモードのオン/オフ  
アラームがオンのときは秒針が「ON」、オフのときは「OFF」を示します。

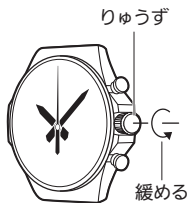
### ③ アラーム分

### ④ アラーム時

⑤ アラーム 24 時間表示  
針が A の側のときは午前、P の側のときは午後を示します。

## りゅうずを使う

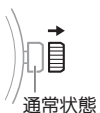
りゅうずは、ねじ込み式になっています(ねじロック式りゅうず)。お使いになるときは、りゅうずを左回しにして、ねじ込みを緩めてください。



## ●引く/戻す

りゅうずを操作するときは、イラストのように 1 段または 2 段引いてから回してください。無理に引っ張らないでください。

### 1 段引く

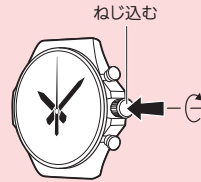


### 2 段引く



## 重要

- 防水性能の低下や衝撃を受けたときの損傷を防ぐため、操作が終わったら、りゅうずを押しながら右に回して必ずねじ込みをしてください。



- りゅうずを戻すときは、強く押し過ぎないようにご注意ください。

## ●早送り/早戻しする

りゅうずを引いた状態で素早く繰り返し回すと、針を早送りまたは早戻しできます。針を早送り中の場合は、再度りゅうずを同じ方向に素早く繰り返し回すと、針の動きが速くなります。

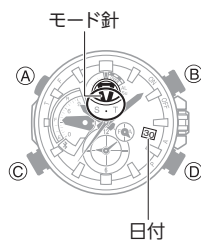
## ●早送り/早戻しを解除する

りゅうずを逆方向に回す、またはボタンを押します。

## 参考

- りゅうずを引いた状態で 2 分以上何も操作しないと、操作が効かなくなります。その場合は、りゅうずをいったん戻し、再度引いてください。

## 針と日付の動き方について



## ●モード針と日付の動きについて

この時計は、日付を変更すると、日付の動きに連動してモード針が回転します。

## ●日付について

- 午前 12 時になると約 15 秒から 30 秒かけて日付が変わります。このとき、日付の動きに合わせてモード針が回転します。
- ストップウォッチが計測中のときは、日付が変わりません。

## 充電する(ソーラー充電)

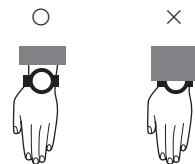
この時計は、ソーラーパネルで発電した電気をバッテリー(二次電池)に充電しながら動作します。ソーラーパネルは文字板と一体になっており、文字板に光が当たっているときは常に発電し充電しています。

## ●充電する

時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いて充電してください。



腕につけているときは、文字板(ソーラーパネル)に衣類の袖がかからないように心がけてください。文字板(ソーラーパネル)が一部でも隠れていると発電効率が低下します。

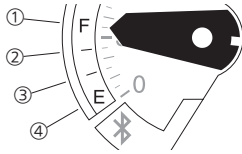


## 重要

- 充電時に、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがあります。火傷をしないように注意してください。また、以下のような高温下での充電は避けてください。
  - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
  - 白熱灯などの発熱体に近い所
  - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

## ●充電量を確認する

時計の充電量は、レトログランド針の位置で確認できます。



充電レベル ①: 良好(充電量 高)

充電レベル ②: 良好(充電量 中)

充電レベル ③: 良好(充電量 中)

充電レベル ④: 充電不足

## ●充電不足や充電切れ

針の動きで、充電量が不足しているかどうかわかります。充電不足になると、使用できる機能が制限されます。

### 重要

- 充電不足や充電切れになったときは、文字板(ソーラーパネル)に光を当てて速やかに充電してください。

### 参考

- 充電が切れた状態で光に当て続けると、秒針が反時計回りに動き、57秒の位置で停止します。これは充電を開始したことを示します。

## 充電不足のとき

秒針が2秒ごとに動きます。



## 充電切れのとき

すべての針と日付が停止します。



## ●充電時間の目安

充電時間の目安として、下の表をご活用ください。

### 1日、使用するために必要な充電時間

		光量	充電時間
多 ↓ 少	①		8分
	②		30分
	③		48分
	④		8時間

### 充電量の回復に必要な時間

		充電時間	
		充電レベル 1	充電レベル 2
多 ↓ 少	①	2時間	23時間
	②	6時間	85時間
	③	8時間	137時間
	④	93時間	—

充電レベル 1:

充電切れから時計が動き出すまで

充電レベル 2:

時計が動き出してから満充電まで

光量

- ① 晴れた日の屋外など(50,000ルクス)
- ② 晴れた日の窓際など(10,000ルクス)
- ③ 曇りの日の窓際など(5,000ルクス)
- ④ 蛍光灯下の室内など(500ルクス)

### 参考

- 実際の充電時間は環境によって異なります。

## ●節電(パワーセービング機能)

午後10時から午前6時の間に、時計を暗い場所に約1時間置いておくと秒針が停止し、レベル1の節電状態になります。この状態が6~7日続くと、すべての針が0位置で停止し、レベル2の節電状態になります。

レベル 1:

秒針を停止して節電します。

レベル 2:

日付以外の針の動き、Bluetooth 接続およびアラームのお知らせを停止して節電します。

### 節電状態を解除する

いずれかのボタンを押す、または時計を明るい場所に置くと、節電状態は解除されます。

## 携帯電話と一緒に使う (モバイルリンク機能)

時計と携帯電話を Bluetooth で接続することで、時計の時刻を自動で合わせたり、時計の設定を変更したりできます。

### 参考

- この機能は、CASIO WATCH+が起動しているときのみ使用できます。
- この章では、時計と携帯電話を操作します。  
 : 時計を操作します。  
 : 携帯電話を操作します。

## 準備する

### ① アプリケーションをインストールする

携帯電話と一緒に使うには、以下のリンクをタップしてカシオオリジナルのアプリケーション「CASIO WATCH+」を携帯電話にインストールしてください。

#### ● iOS (iPhone) をお使いの方

<https://itunes.apple.com/jp/app/casio-watch+/id760165998?mt=8>

#### ● Android™ (GALAXY ほか) をお使いの方

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.casio.watchplus>

### ② Bluetooth を設定する

携帯電話の Bluetooth 設定をオンにします。

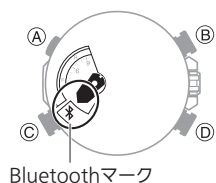
### 参考

- 設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

## ③ ペアリングする

時計と携帯電話を一緒に使うには、最初にペアリングする必要があります。

1. ペアリング相手の携帯電話を、時計の近く (1m 以内を推奨) に置きます。
2. ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. 画面に従って操作して、ペアリングします。
  - ペアリングの要求が表示される場合は、画面に従って操作してください。
  - ペアリングが開始するとレトログレード針が「R」マークを示します。ペアリングが完了すると、レトログレード針が✱マークに移動します。



Bluetoothマーク

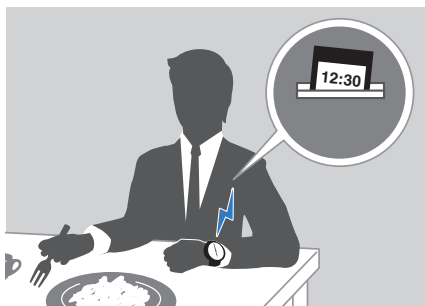
## 時計の時刻を自動で合わせる

毎日決まった時刻に、時計を携帯電話の時刻に自動で合わせます。

自動で時刻を合わせたい場合は、時計をカレンダーモードにしてください。

### ● 使いかた

この時計は 1 日に 4 回の時刻合わせがスケジュールされています。(イラストのように) 普段の生活の中で自動的に時刻を合わせるので、そのままお使いになれます。



## 重要

- 以下のときは、時計がカレンダーモードになっていても自動で時刻を合わせることができません。
  - ストップウォッチが計測中
  - バッテリーが不足している (レトログレード針が「E」を示している)
  - 時計がレベル 2 の節電状態になっている
  - 携帯電話と時計が離れた場所にある
  - 電波干渉などで通信できない
  - 携帯電話のシステム更新を実行している

## 参考

- 携帯電話と接続しても時計が正しい日時を示さない場合は、針や日付を補正してください。
- 🔗 **針や日付の位置を補正する**
- CASIO WATCH+ でワールドタイム都市を設定している場合、ワールドタイムの時刻も自動で合います。
- 時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

### ● サマータイムについて

携帯電話と接続して時計の時刻を合わせたあとは、携帯電話と接続しなくてもサマータイムは自動で切り替わります (ホーム都市の時刻とワールドタイムの両方が切り替わります)。

### 🔗 サマータイムの切り替えについて

- 時計を操作して時刻を合わせた場合、サマータイムの自動切り替えは解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCH+ で確認できます。

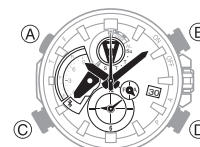
### ● すぐに時刻を合わせたい

時計と携帯電話を接続すると、時計の時刻が携帯電話の時刻に合います。今すぐ時計の時刻を合わせたいときは、以下の手順で時計と携帯電話を接続します。

1. **C** ボタンを押します。

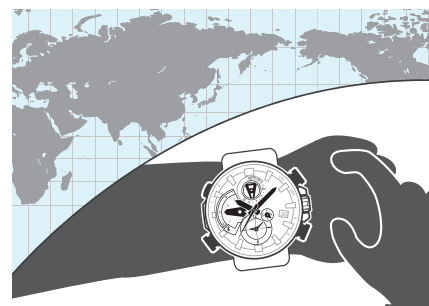
レトログレード針が「R」マークに移動します。時計と携帯電話が接続すると、レトログレード針が✱マークに移動して、時計の時刻が携帯電話の時刻に合います。

- 時計と携帯電話は自動で切断されます。



## ワールドタイムを設定する

CASIO WATCH+ でワールドタイム都市を設定し、時計にその都市の時刻をセットします。ワールドタイム都市にはサマータイムの時期になると自動でサマータイムになるような設定ができます。

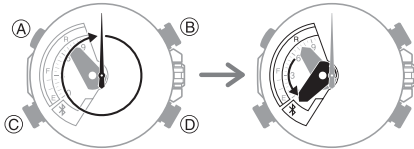


## 参考

- CASIO WATCH+ のワールドタイム都市は約 300 都市あります。

## ●ワールドタイム都市を設定する

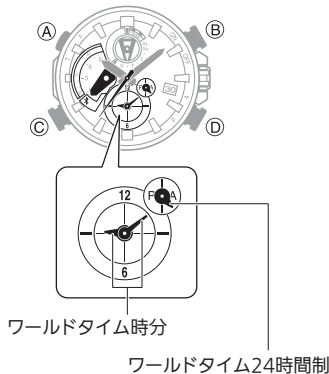
1. □「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ⓐ C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログロード針が「R」マークから \* マークに移動します。



3. □画面に従って操作して、ワールドタイムを時計に反映させます。

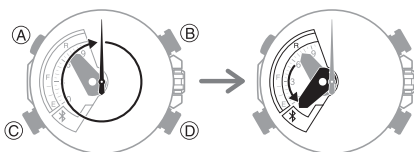
時計の小時分針と小時針(24 時間制)が、選んだ都市の時刻とタイムゾーンを示します。

- ワールドタイムの午前、午後は小時針(24 時間制)の位置で確認できます。



## ●サマータイムを設定する

1. □「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ⓐ C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログロード針が「R」マークから \* マークに移動します。



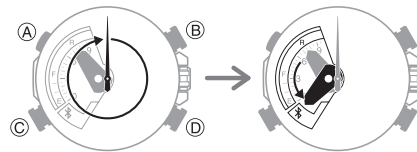
3. □画面に従って操作して、サマータイムを設定します。

### 参考

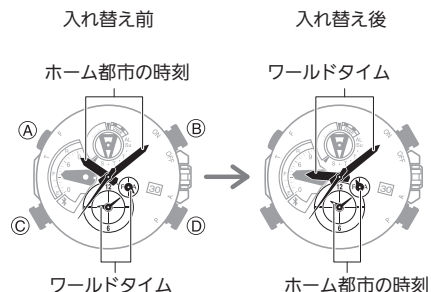
- サマータイム切り替えの設定が「Auto」のときは、自動でスタンダードタイムとサマータイムが切り替わるので、サマータイムの切り替えのタイミングごとに時計の時刻を変更する必要はありません。また、サマータイムを導入していない都市でも、「Auto」の設定のまま使えます。
- 時計を操作して手動で時刻を合わせた場合は、サマータイムの自動切り替えが解除されます。
- サマータイムの切り替え期間は、CASIO WATCH+で確認できます。

## ●ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替える

1. □「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ⓐ C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログロード針が「R」マークから \* マークに移動します。



3. □画面に従って操作して、ホーム都市の時刻とワールドタイムを入れ替えます。



### 参考

- ワールドタイムとホーム都市の時刻を入れ替えた後、24 時間は自動時刻合わせが行われません。

## ストップウォッチを設定する

ストップウォッチモードで計測時にラップタイムとの差を計測するための目標値や報音を設定できます。

- 🔗 [計測中のラップタイムと目標値の差を確認する](#)
- 🔗 [スプリットタイムとラップタイムについて](#)

### ●目標値のタイプを変更する

ラップタイムとの差を計測するための目標値のタイプを以下のどちらかに設定できます。

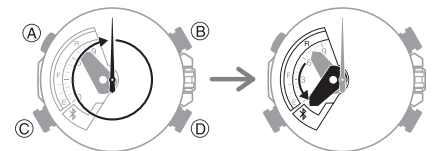
#### FASTEST (最速) :

最速のラップタイムが自動的に目標値に設定されます。計測中、最速のラップタイムが記録されるたびに、その値が目標値に更新されます。計測をリセットすると、目標値もリセットされます。

#### TARGET (ターゲット) :

CASIO WATCH+で設定できる固定値です。

1. □「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. ⓐ C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログロード針が「R」マークから \* マークに移動します。



3. □画面に従って操作して、目標値のタイプを設定します。

### 参考

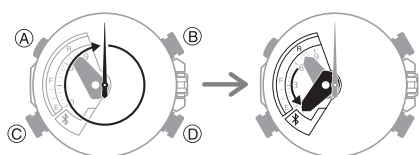
- 目標値のタイプを TARGET (ターゲット) に設定した場合は、目標値も設定してください。
- 🔗 [TARGET \(ターゲット\) 値を設定する](#)
- ストップウォッチが計測停止中のときに目標値のタイプを変更すると、ストップウォッチの計測値がリセットされます。

## ●TARGET(ターゲット)値を設定する

目標値のタイプを TARGET(ターゲット)にした場合は、以下の手順で目標値を設定できます。

- TARGET(ターゲット)値は、15 秒未満に設定できません。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから マークに移動します。



3. 画面に従って操作して、TARGET(ターゲット)値を設定します。

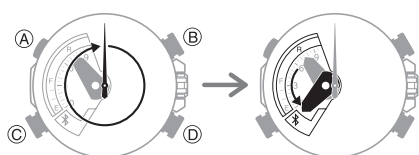
### 参考

- ストップウォッチが計測停止中のときに TARGET(ターゲット)値を変更すると、ストップウォッチの計測値がリセットされます。

## ●報音の有無を設定する

計測中のラップタイムが目標値になったとき音が鳴るように設定できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから マークに移動します。



3. 画面に従って操作して、報音の有無を設定します。

### 参考

- ストップウォッチが計測停止中のときに報音設定を変更すると、ストップウォッチの計測値がリセットされます。

## ストップウォッチのデータを見る

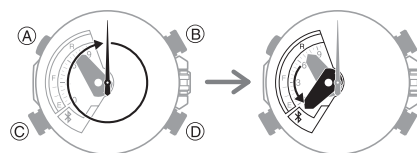
時計に記録されているラップタイムやスプリットタイム(最大 100 本)などのデータを携帯電話に転送し、CASIO WATCH+で見ることができます。

### ●データを転送する

時計で計測したデータを携帯電話に転送します。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。

- 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
- 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから マークに移動します。



3. 画面に従って操作して、時計で計測したデータを携帯電話に転送します。
 

転送が完了すると、計測データの一覧が表示されます。

  - 計測データをタップすると、詳細が表示されます。

### ●ラップタイムを確認する

携帯電話に転送したデータを CASIO WATCH+で確認します。

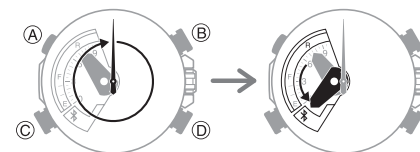
1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. 画面に従って操作して、確認したい計測データを表示します。

### 参考

- 「編集」をタップすると、データのタイトルを変更したり、ラップタイムのデータを削除したりできます。

## アラームを設定する

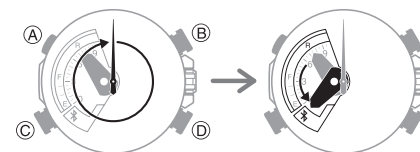
1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから マークに移動します。
3. 画面に従って操作して、アラームの時刻を設定します。



## 針や日付の位置を補正する

自動時刻合わせをしても針や日付の位置が合っていないときは、CASIO WATCH+を使って針や日付の位置を補正できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから マークに移動します。



3. 画面に従って操作して、針の位置を補正します。

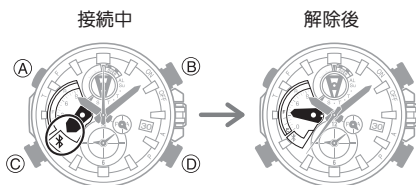
## 携帯電話を探す

時計の操作で、携帯電話の音を鳴らして探すことができます。携帯電話がマナーモードに設定されていても、強制的に音が鳴ります。

### 重要

- 携帯電話の音を鳴らすことが禁止されている場所では、この機能を使わないでください。
- 大音量が発生しますので、ヘッドホン使用時にこの機能を使わないでください。

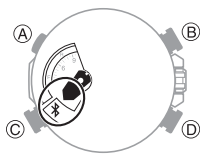
1. 時計と携帯電話が接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。



2. A ボタンを約 2 秒間押し続けます。カレンダーモードになります。
3. 秒針が「R」マークを示すまで約 1.5 秒間、D ボタンを押し続けます。

時計と携帯電話が接続するとレトログラード針が「R」マークに移動して、携帯電話の音が鳴ります。

- 携帯電話の音が鳴るまで数秒かかります。

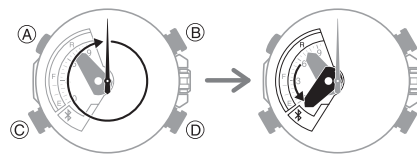


4. いずれかのボタンを押して音を止めます。
  - 音が鳴り始めてから 30 秒間は、時計のボタン操作で音を止めることができます。

## 時計の各種機能を設定する

Bluetooth 接続を自動で切断する時間や時計の操作音の有無などは、CASIO WATCH+で設定できます。

1. 「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから「\*」マークに移動します。



3. 設定したい内容を選び、画面に従って操作します。

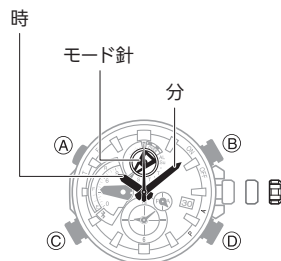
## 時計の設定をリセットする

CASIO WATCH+を使って変更した時計の設定を、以下の状態に戻します。

- ストップウォッチ
  - TARGET (ターゲット) 値: オフ
  - 目標値タイプ: FASTEST (最速)
  - ラップタイムデータ: 全消去
- アラーム
  - アラーム時刻: 0:00
  - アラーム設定: オフ
- ミュート設定: オフ
- 接続時間: 3 分
- 自動時刻合わせ: オフ

1. りゅうずを 2 段引きます。
2. C ボタンを約 5 秒間押し続けます。
 

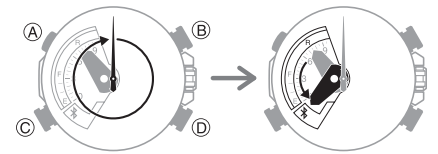
秒針が 12 時位置を示した後に「A」または「P」に移動して、設定がリセットされます。



3. りゅうずを戻します。

## ホーム都市のサマータイム設定を切り替える

1. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから「\*」マークに移動します。

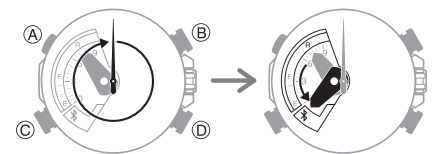


3. 画面に従って操作して、サマータイム設定を切り替えます。

## 時計の充電量を確認する

CASIO WATCH+で時計の充電量を確認できます。

1. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラード針が「R」マークから「\*」マークに移動します。



3. CASIO WATCH+で充電量の表示を確認します。



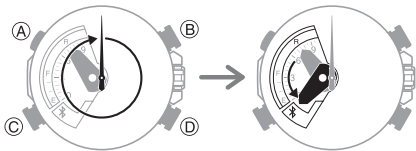
## 接続

### 時計と携帯電話を接続する

ペアリングが完了している時計と携帯電話を Bluetooth 接続します。

- ペアリングしていないときは、「③ペアリングする」に従って、ペアリングを完了してください。

1. 携帯電話を、時計の近く(1m以内を推奨)に置きます。
2. 秒針が✳️を示していないときに、C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラフィック針が「R」マークから✳️マークに移動します。



### 重要

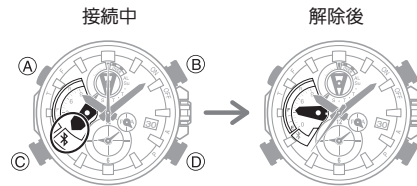
- ストップウォッチが計測中のときは、携帯電話と接続できません。
- 時計と携帯電話を接続できないときは、CASIO WATCH+が終了している可能性があります。携帯電話のホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップしてアプリを起動してから、時計の C ボタンを約 2 秒間押し続けてください。

### 参考

- 接続中に一定時間何も操作しないと、自動で接続は解除されます。接続を維持する時間は、CASIO WATCH+の「時計設定」→「接続時間」で、3分、5分、10分から選ぶことができます。

### 時計と携帯電話の接続を解除する

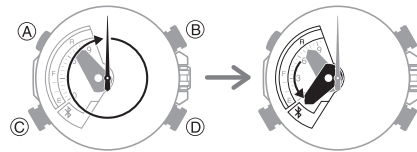
いずれかのボタンを押すと、Bluetooth 接続が解除され秒針が通常の動きに戻ります。



### 病院内、飛行機内で使うとき

病院内や飛行機内など、自動で電波を受信したり、携帯電話と接続しては困るような場合、自動時刻合わせを無効にできます。自動時刻合わせを有効に戻すときも同じ操作です。

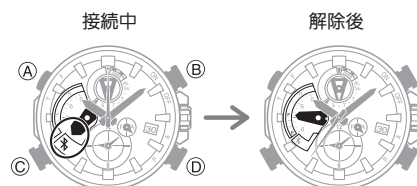
1. ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
2. C ボタンを約 2 秒間押し続けます。
  - 秒針が 12 時位置に移動します。その後、秒針が 1 周するまで C ボタンを押し続けてください。
  - 時計と携帯電話が接続すると、レトログラフィック針が「R」マークから✳️マークに移動します。



3. 画面の操作に従って、自動時刻合わせを有効または無効に設定します。

### ペアリングを解除する

1. 時計と携帯電話が接続している場合は、いずれかのボタンを押して接続を解除します。

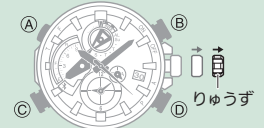


2. ホーム画面で、「CASIO WATCH+」アイコンをタップします。
3. 画面に従って操作して、ペアリングを解除します。

### 参考

- 一度ペアリングを解除した後、再度携帯電話とペアリングできない場合は、以下の手順で時計のペアリング情報を削除してから、ペアリングをやり直してください。

- ① くりゆうずを 2 段引きます。



- ② D ボタンを約 5 秒間押し続けます。

秒針が 1 周して、ペアリング情報が削除されます。

- ③ くりゆうずを戻します。

### 携帯電話を買い替えたとき

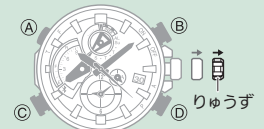
今まで接続したことのない携帯電話と本機を Bluetooth 接続する場合は、ペアリング操作が必要です。

### ③ペアリングする

### 参考

- 時計と新しい携帯電話をペアリングしようとしたときに今まで接続していた携帯電話が近くで起動していると、今まで接続していた携帯電話と時計が接続してしまい、新しい携帯電話とペアリングできません。その場合は、以下の手順で時計からペアリング情報を削除してください。さらに、接続しない携帯電話の CASIO WATCH+ から時計の登録を解除してください。

- ① くりゆうずを 2 段引きます。



- ② D ボタンを約 5 秒間押し続けます。

ペアリング情報が削除されると、秒針が「0」を示します。

- ③ くりゆうずを戻します。

## 時計の設定

現在地の時刻やデュアルタイムを手動で設定します。

### 準備:

ここでの操作はカレンダーモードで行います。

### モードを切り替える

カレンダーモード

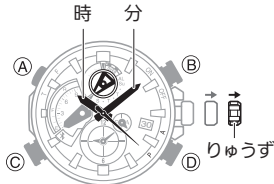


## 日時を設定する

携帯電話と通信しているときは、携帯電話の時刻と日付に自動的に合わせます。携帯電話と接続しないときは、以下の操作で時計の時刻と日付を合わせます。

### 1. りゅうずを2段引きます。

現在時計が示している時間が午前中の場合は秒針が「A」に、午後なら「P」に移動し、「時」と「分」を設定できる状態になります。



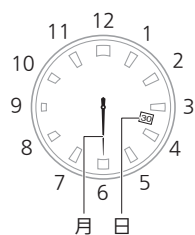
### 2. りゅうずを回して「時」と「分」を合わせます。

時刻に合わせてデュアルタイムも変わります。小時分針が動いている間、りゅうず操作はできません。

### 3. A ボタンを押します。

月日を設定できる状態になります。

### 4. B ボタンを押して「月」を合わせます。

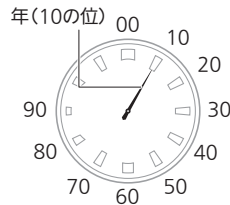


### 5. りゅうずを回して「日」を合わせます。

### 6. A ボタンを押します。

「年(10の位)」を設定できる状態になります。

### 7. りゅうずを回して「年(10の位)」を合わせます。

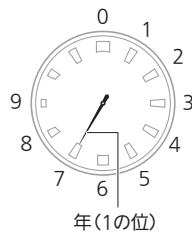


• 年は西暦(20xx)で合わせます。

### 8. A ボタンを押します。

「年(1の位)」を設定できる状態になります。

### 9. りゅうずを回して「年(1の位)」を合わせます。



### 10. 時報に合わせてりゅうずを戻します。

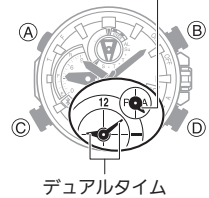
### 参考

• 年月日を設定すると、自動的に曜日も設定されます。

## デュアルタイムを設定する

現在地の時刻とは別に、海外時刻などもう1つの時刻を表示できます。

デュアルタイム24時間制表示



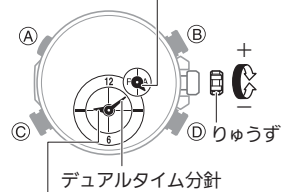
### 1. りゅうずを1段引きます。

秒針が12時位置に移動します。

### 2. りゅうずを回して時刻を設定します。

• 時刻は15分単位で設定できます。

デュアルタイム24時間針



デュアルタイム時針

### 3. りゅうずを戻します。

## 現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替える

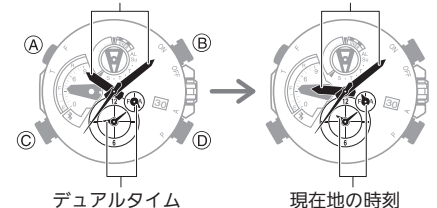
B ボタンを約3秒間押し続けると、デュアルタイムと現在地の時刻が入れ替わります。

入れ替え前

入れ替え後

現在地の時刻

デュアルタイム



### 参考

• 時計でデュアルタイムを設定した場合、現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替えても、日付は入れ替わりません。

## ストップウォッチ

最長で 23 時間 59 分 59 秒 95 の計測ができます。

通常の計測に加えてスプリットタイムも計測できます。さらに、目標値を設定すれば、計測中の値(ラップタイム)と目標値の差も計測できます。

🔍 計測中のラップタイムと目標値の差を確認する

### 参考

- 24 時間以上計測し続けると、計測が止まり、リセットされます。

### 準備:

ここでの操作はストップウォッチモードで行います。

🔍 モードを切り替える

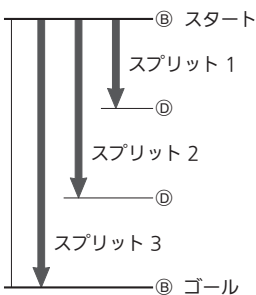
ストップウォッチモード



## スプリットタイムとラップタイムについて

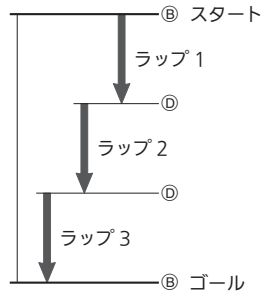
### ●スプリットタイム

スタートから任意の地点までの経過時間です。時計では、スプリットタイムを見ることができます。



### ●ラップタイム

サーキット 1 周など、一定区間ごとの経過時間です。ラップタイムは、スプリット計測と同時に、時計内部で計測されます。時計では、計測中のラップタイムと目標値の差を計測して表示します。

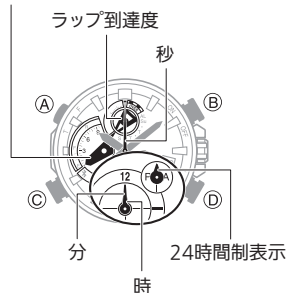


### 参考

- ラップタイムは計測終了後に CASIO WATCH+ で確認できます。
- 🔍 ストップウォッチのデータを見る

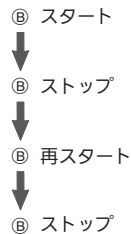
## 計測する

1/20(0.05)秒



1. 以下の操作で計測します。

- 計測から 30 秒間はレトロград針が動きます。

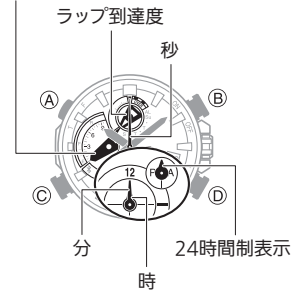


2. D ボタンを押して、計測をリセットします。

3. A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

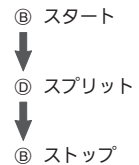
## スプリット計測する

1/20(0.05)秒



1. 以下の操作で計測します。

- D ボタンを押すごとに、その時点までの経過時間(スプリットタイム)が約 5 秒間表示されます。
- 計測開始後やスプリットタイムを表示後の約 30 秒間は、レトロград針が動きます。



2. D ボタンを押して、計測をリセットします。

3. A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

### 参考

- 1 回の計測で、スプリットタイムを 100 本計測できます。
- 新しい計測を始めると、前回計測したデータは消去されます。計測したデータを残したい場合は、新しい計測を始める前に携帯電話にデータを転送してください。

🔍 ストップウォッチのデータを見る

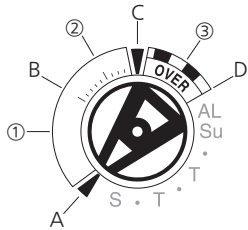
- スプリット計測時に、ラップタイムも同時に計測されます。ラップタイムは、CASIO WATCH+ で確認できます。

## 計測中のラップタイムと目標値の差を確認する

時計内部で計測しているラップタイムと目標値の差を確認できます。スプリット計測を始めると、モード針が以下のように動きます。

- ① **スプリットタイムとラップタイムについて**
- ② **CASIO WATCH+で目標値のタイプを変更する**
- ③ **時計を操作して目標値のタイプを変更する**
- ④ **TARGET(ターゲット)値を設定する**

- 計測開始前は、モード針は A の位置を示します。



- ① ラップタイムが目標値に近づくにつれて、モード針が A の位置から右回りに動きます。ラップタイムが目標値の 10 秒前になると、モード針が B の位置を示します。
- ② ラップタイムが目標値の 10 秒前から目標値になるまでは、モード針が 1 秒ごとに右回りに動きます。ラップタイムが目標値になると、モード針が C の位置を示します。報音が鳴るように設定している場合は、ラップタイムが目標値になると音が鳴ります。
- ③ ラップタイムが目標値を超えると、モード針が 1 秒ごとに右回りに動きます。ラップタイムが目標値から 10 秒を超えると、D の位置で停止します。

### 参考

- 計測中に D ボタンを押してスプリット計測を始めると、モード針は新たな計測値と目標値との差を示します(①の動作に戻ります)。
- 目標値のタイプが FASTEST(最速)の場合、最初のラップタイムが計測されるまで、モード針は A の位置から動きません。

## 目標値のタイプを変更する

ラップタイムとの差を計測するための目標値のタイプを以下のどちらかに設定できます。

**FASTEST(最速) :**

最速のラップタイムが自動的に目標値に設定されます。計測中、最速のラップタイムが記録されるたびに、その値が目標値に更新されず。計測をリセットすると、目標値もリセットされます。

**TARGET(ターゲット) :**

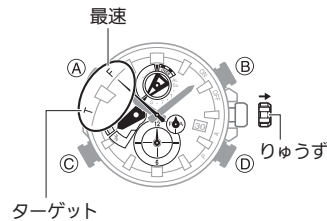
CASIO WATCH+で設定できる固定値です。

④ **TARGET(ターゲット)値を設定する**

1. **りゅうずを 1 段引きます。**

秒針が「T」または「F」を示します。

- ストップウォッチモードで計測中にりゅうずを引くと、ストップウォッチの計測が止まり、リセットされます。



2. **りゅうずを回して目標値のタイプを切り替えます。**
3. **りゅうずを戻します。**
4. **A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。**

## 報音の有無を設定する

計測中のラップタイムが目標値になったとき音が鳴るように設定できます。

1. **りゅうずを 1 段引きます。**

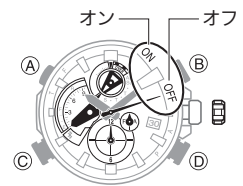
秒針が「T」または「F」を示します。

- ストップウォッチモードで計測中にりゅうずを引くと、ストップウォッチの計測が止まり、リセットされます。

2. **B ボタンを約 2 秒間押し続けます。**

報音の設定が切り替わります。

- 手順 2 の代わりに B ボタンを押すと、秒針が現在の設定を示します。



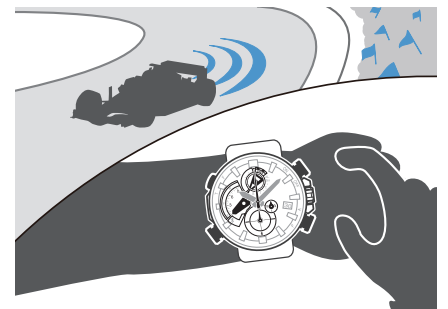
3. **りゅうずを戻します。**

4. **A ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。**

## レースのラップタイムを記録する(使用例)

レースを観戦しているときに、区間ごとにラップタイムを時計内部で計測しながら目標値との差を時計で確認できます。さらに、レース後に計測したラップタイムを CASIO WATCH+で見られることもできます。

④ **スプリットタイムとラップタイムについて**



### レース前

目標値のタイプを設定します。目標値のタイプを TARGET(ターゲット)に設定した場合は、TARGET(ターゲット)値も設定してください。

④ **CASIO WATCH+で目標値のタイプを変更する**

④ **時計を操作して目標値のタイプを変更する**

④ **TARGET(ターゲット)値を設定する**

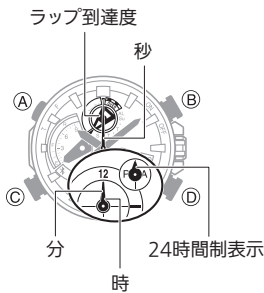
## レース中

スプリットタイムを計測します。時計内部でラップタイムも計測されます。

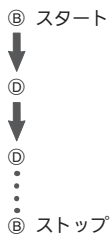
1. **A** ボタンを約 2 秒間押し続けます。  
カレンダーモードになります。



2. **A** ボタンを 1 回押します。  
ストップウォッチモードになります。



3. 以下の操作で計測します。



周回ごとに **D** ボタンを押すと、周回ごとのラップタイムが時計内部に記録されます。

- ラップタイムは 1/1000 秒単位で記録されます。
- 時計内部で計測しているラップタイムと設定した目標値との差を、モード針で見ることができます。

🔗 [計測中のラップタイムと目標値の差を確認する](#)

4. **D** ボタンを押して、計測をリセットします。
5. **A** ボタンを 2 回押して、カレンダーモードに戻ります。

## レース後

計測したラップタイムを CASIO WATCH+ で確認します。

- 🔗 [データを転送する](#)
- 🔗 [ラップタイムを確認する](#)

## アラーム

指定した時刻に音でお知らせします。

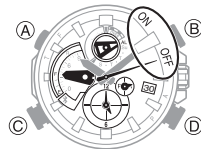
- 以下のときは音が鳴りません。
  - 充電不足のとき
  - 節電状態レベル 2 のとき
- 🔗 [節電 \(パワーセービング機能\)](#)

準備:

ここでの操作はアラームモードで行います。

🔗 [モードを切り替える](#)

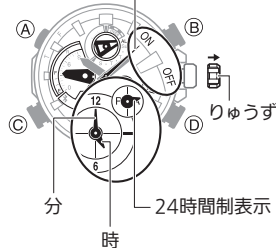
アラームモード



## アラームをセットする

1. りゅうずを 1 段引きます。  
アラームがオンになります。

アラームオン

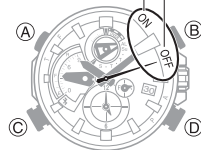


2. りゅうずを回してアラーム時刻を設定します。
3. りゅうずを戻します。
4. **A** ボタンを 1 回押して、カレンダーモードに戻ります。

## アラームのオン/オフを切り替える

**B** ボタンを押すと、アラームのオンとオフを切り替えることができます。

オン — オフ



## アラームを止める

アラームの音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押します。

## 針や日付の補正

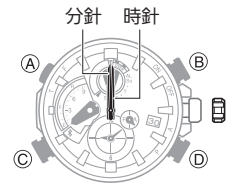
強い磁気や衝撃を受けると、針の時刻や日付の位置が合っていないことがあります。そのようなときは、針や日付の位置を補正します。

### 針や日付の位置を補正する

1. りゅうずを 1 段引きます。
2. **D** ボタンを約 5 秒間押し続けます。  
秒針が 1 周して、秒針を補正できるようになります。



3. りゅうずを回して秒針を 12 時位置に合わせます。
4. **A** ボタンを押します。  
時計と分針を補正できるようになります。



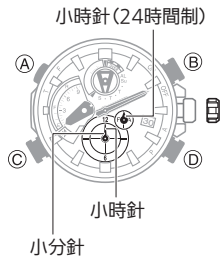
5. りゅうずを回して時計と分針を 12 時位置に合わせます。
6. **A** ボタンを押します。  
レトロград針を補正できるようになります。



7. りゅうずを回してレトロград針を「0」に合わせます。

8. A ボタンを押します。

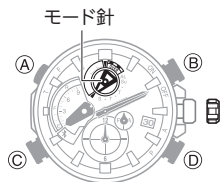
小時針、小分針および小時針(24 時間制)を補正できるようになります。



9. りゅうずを回して小時針、小分針および小時針(24 時間制)を 12 時位置に合わせます。

10. A ボタンを押します。

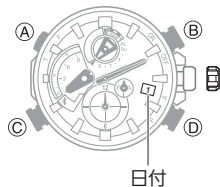
モード針を補正できるようになります。



11. りゅうずを回してモード針を ▼ に合わせます。

12. A ボタンを押します。

日付を補正できるようになります。



13. りゅうずを回して「1」を中央に合わせます。

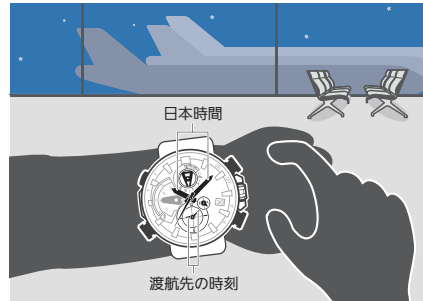
14. りゅうずを戻します。

## 海外に渡航するとき

こんな使い方をすれば、スムーズに渡航先の日時に変更できます。

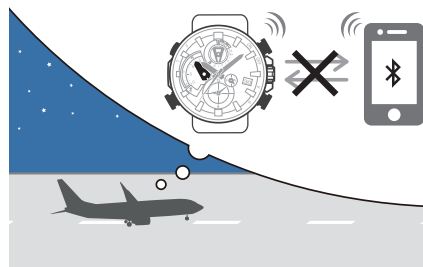
### ●搭乗前

1. 渡航先の時刻をワールドタイム(デュアルタイム)に設定します。



- ワールドタイムを設定する
- デュアルタイムを設定する

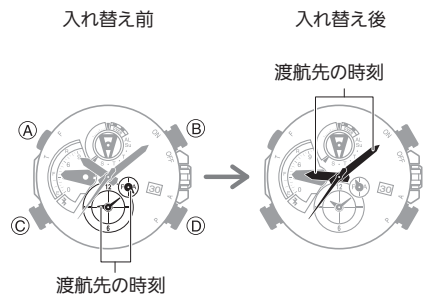
2. 自動時刻合わせを無効にします。



- 病院内、飛行機内で使うとき

### ●到着後

1. 出発地と渡航先の時刻を入れ替えます。



- 現在地の時刻とデュアルタイムを入れ替える

2. 自動時刻合わせを有効にします。

- 病院内、飛行機内で使うとき

## 補足

操作説明以外に必要な情報はここにまとめています。必要に応じてご覧ください。

### サマータイムの切り替えについて

#### ●携帯電話と接続して切り替える

携帯電話と接続したとき、CASIO WATCH+の設定(Auto/ON/OFF)により、時計のホーム都市の時刻またはワールドタイムは以下のようになります。

#### Auto :

携帯電話と接続したとき、ホーム都市またはワールドタイム都市がサマータイムに入っていたら、時計の時刻はサマータイムで表示されます。サマータイムに入っていないければ時計の時刻はスタンダードタイムで表示されます。

#### ON :

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にサマータイムで表示されます。

#### OFF :

サマータイム期間かどうかに関わらず、時計の時刻は常にスタンダードタイムで表示されます。

#### ●自動的に切り替える

一度携帯電話と接続すると、ホーム都市のサマータイム期間の情報(CASIO WATCH+でワールドタイム都市を設定している場合、その都市のサマータイム期間の情報も)が時計に送信されます。CASIO WATCH+でサマータイムの設定を「Auto」にしておけば、そのあとは携帯電話と接続しなくても、時計がサマータイム期間を判別し、自動でサマータイムに切り替わります。

### 対応機種

対応機種はカシオホームページでご確認ください。

[http://world.casio.com/os\\_mobile/wat/](http://world.casio.com/os_mobile/wat/)

## 仕様一覧

### 精度:

平均月差±15秒

### 基本機能:

時・分(10秒ごとに針が動きます)・秒、日付(2000~2099年までのフルオートカレンダー)、曜日

### デュアルタイム機能:

時・分、24時間制、ホームタイムの時刻入れ替え機能

### ストップウォッチ機能:

計測単位 1/20(0.05)秒  
計測範囲 23時間59分59秒95(24時間)  
計測機能 通常計測、スプリット計測、タイム差表示

### アラーム機能:

セット単位 時・分  
電子音 10秒間

### モバイルリンク機能:

自動時刻修正機能  
決まった時刻に自動で時計を合わせる  
ワンタッチ時刻修正  
手動で接続して時刻を合わせる  
携帯電話探索機能  
時計操作により、携帯電話の音を鳴らす  
ワールドタイム  
約300都市の時刻を時計に設定する  
ホームタイム/ワールドタイムの時刻入れ替え機能  
サマータイム自動切り替え機能  
スタンダードタイム/サマータイムを自動で切り替える  
ストップウォッチ設定  
目標タイム設定、最速タイム差/目標タイム差表示切り替え  
ストップウォッチデータ転送  
1/1000秒ストップウォッチ:  
計測データ100本(計測年月日時刻、ラップ/スプリットタイム、ラップ番号)  
アラーム設定  
針位置補正機能  
通信仕様  
Bluetooth®  
周波数帯域 2400MHz~2480MHz  
最大送信電力 0dBm(1mW)  
通信距離 ~2m(環境により変化)

### その他:

パワーセービング機能、バッテリー充電警告機能、バッテリーの状態を表示(バッテリーインジケータ)

### 使用電池:

二次電池

### 持続時間:

約5か月  
使用条件  
自動時刻修正:4回/日  
アラーム:1回(10秒間)/日  
パワーセービング:6時間/日

## モバイルリンク機能に関する注意事項

### ●法律上のご注意

●本機は、各国、地域の電波法の適合または認証を取得しております。電波法の適合または認証を取得していないエリアでご使用になると罰せられることがあります。詳しくは、カシオホームページをご覧ください。  
<http://world.casio.com/ce/BLE/>

●各国の航空法により、航空機内でのご使用は制限されています。航空会社の指示に従ってください。

### ●安全上のご注意

#### ⚠ 警告 無線について

- 病院内や航空機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。本機からの電磁波などが計器類に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 高精度な電子機器または微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、使用しないでください。電子機器が誤作動するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- ペースメーカーなどをご使用の方は、本機を胸部から離してご使用ください。ペースメーカーなどに磁力の影響を与えることがあります。万一異常を感じたら直ちに本機を体より離し、医師に相談してください。

### ●モバイルリンク機能使用上のご注意

- 携帯電話は、本機の近くに置いてご使用ください。2m以内が目安です。ただし、周囲の環境(壁、家具など)や建物の構造によっては、通信可能距離が極端に短くなることがあります。
- 本機は、他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)の影響を受けることがあります。特に動作中の電子レンジには影響を受けやすく、その近くでは本機が正常に通信できないことがあります。逆に本機の影響で、テレビやラジオに雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。
- 本機のBluetoothは無線LAN対応機器と同一の周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、お近くで使用すると電波干渉が発生し、本機と無線LAN対応機器の双方で通信速度の低下や雑音、通信不能の原因となる場合があります。

●本機からの電波を止める必要があるときは秒針が✳(Bluetooth接続中)または「R」(Bluetooth接続待機中)を指しているときは、本機は電波を発信しています。

また、秒針が✳または「R」を指していなくても、1日4回時刻合わせのため、自動で時計と携帯電話が接続します。

病院内や航空機内など、電波の使用を禁止された区域でお使いになるときは、以下のようにご対応ください。

- 自動時刻合わせを無効にする  
CASIO WATCH+で時計と携帯電話を同期しないように設定してください。
- 🚫病院内、飛行機内で使うとき

## 無線に関するご注意

- 本機は、電波法に基づいて工事設計認証を受けています。無線局の免許は不要です。
- 本機は、工事設計認証を受けています。以下の事項は法律で罰せられることがあります。
  - 分解および改造すること
- 無線LANは、本機と同じ周波数帯(2.4GHz)を使用しています。これらを利用した製品と本機との間で、互いに電波障害を与えることがあります。
- 下記のような環境では、電波状態が悪くなったり、電波が届かなくなったりします。
  - 電子レンジ等の磁場、静電気、不要輻射電波の発生する機器の近く
  - 鉄筋コンクリート(マンションなど)や鉄骨構造の建物内
  - 大型金属製家具の近く
  - 各無線機器の間に人が入ったり、間を人が横切るとき、腕を組んだりしたとき
  - 腕時計と携帯電話等が別々の部屋にある場合(障害物がある場合)
- 電波を使用している関係上、第三者が故意または偶然に傍受することも考えられます。機密を要する重要な事柄や人命に関わることに使用しないでください。

<以下、ARIB(一般社団法人電波産業会)に準ずる>

- 本機は2.4GHz帯を使用し、変調方式はDS-SS/FH-SS/OFDM方式、DS-FH、FH-OFDM複合方式以外の"その他の方式"です。また、想定される干渉距離は約10mです。

2.4 XX1

●本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局との間で、電波干渉が発生した場合には、速やかに通信チャンネルを変更するか、使用する場所を変えるか、本機の使用を停止してください。
3. 不明な点がある場合やお困りの場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」(「取扱説明書」を参照)にお問い合わせください。

## 商標、登録商標について

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- iPhone、App Store は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iOS は米国シスコの商標または登録商標です。
- iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- GALAXY、GALAXY Note、GALAXY S は Samsung Electronics Co., Ltd.の登録商標です。
- Android および Google Play™ は、Google Inc.の登録商標です。
- その他の会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

## 困ったときは

### ペアリングできない

**Q1** 時計と携帯電話が一度も接続(ペアリング)できない

機種は対応していますか？

お使いの携帯電話と OS が対応機種となっているかご確認ください。  
対応機種についてはカシオホームページをご覧ください。

↓ [http://world.casio.com/os\\_mobile/wat/](http://world.casio.com/os_mobile/wat/)

CASIO WATCH+をインストールしましたか？

時計と接続するためには、CASIO WATCH+を携帯電話にインストールする必要があります。

📌 ① アプリケーションをインストールする

Bluetooth は設定しましたか？

携帯電話の Bluetooth を設定してください。設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

**iPhone をお使いの方**

- 「設定」→「Bluetooth」→ オン
- 「設定」→「プライバシー」→「Bluetooth 共有」→「CASIO WATCH+」→ オン

**Android をお使いの方**

- Bluetooth をオンにしてください。

ストップウォッチが計測中ですか？

ストップウォッチが計測中のときは携帯電話とペアリングできません。計測を止めてから携帯電話とペアリングしてください。

上記以外

一部の携帯電話で CASIO WATCH+を使用する場合、携帯電話で BT Smart の設定を無効にする必要があります。設定方法の詳細については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

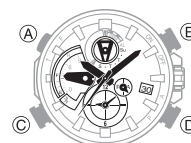
ホーム画面で「メニュー」→「本体設定」→「Bluetooth」→「メニュー」→「BT Smart 設定」→「無効にする」

## 再接続できない

**Q1** 時計と携帯電話が再接続できない

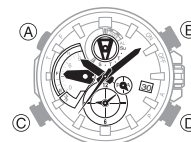
CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了していると、時計と携帯電話の再接続ができません。携帯電話のホーム画面で CASIO WATCH+のアイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン(C)を約 2 秒間押し続けてください。



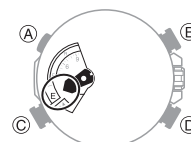
携帯電話を確認しましたか？

携帯電話の電源を入れ直し、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン(C)を約 2 秒間押し続けてください。



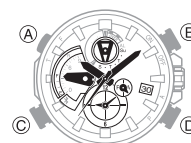
時計は十分に充電されていますか？

レトログランド針が「E」を示しているときは、携帯電話と接続できません。時計を充電してから携帯電話と接続してください。



ストップウォッチが計測中ですか？

ストップウォッチが計測中のときは携帯電話と接続できません。計測を止めてから時計の CONNECT ボタン(C)を約 2 秒間押し続けてください。





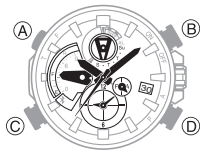
## Q2 携帯電話の Bluetooth をオンからオフにした後接続できなくなった

携帯電話の Bluetooth をオフからオンにし、ホーム画面で「CASIO WATCH+」アイコンをタップした後、時計の CONNECT ボタン(C)を約 2 秒間押し続けてください。



## Q3 携帯電話の電源を切ったら接続できなくなった

携帯電話の電源を入れ、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン(C)を約 2 秒間押し続けてください。

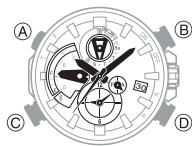


## どうしても接続できない場合

### Q1 どうしても携帯電話と時計を接続できない

携帯電話を確認しましたか？

携帯電話の電源を入れ、CASIO WATCH+のアイコンをタップしてから、時計の CONNECT ボタン(C)を約 2 秒間押し続けてください。



ペアリングをやり直しましたか？

ペアリングを解除した後、ペアリングをやり直してください。

☞ [ペアリングを解除する](#)

それでも接続できない場合

時計のペアリング情報を削除した後、再度ペアリングを行ってください。

☞ [「ペアリングを解除する」の参考](#)

## 携帯電話を機種変更した場合

### Q1 今使っている時計を別の携帯電話と接続したい

お使いになっている時計と接続したい携帯電話をペアリングしてください。

☞ [③ ペアリングする](#)

## 携帯電話探索機能 (Phone Finder)

### Q1 携帯電話の探索ができない

接続は解除していますか？

Bluetooth 接続中は、携帯電話の探索ができません。

CASIO WATCH+は起動していますか？

CASIO WATCH+が終了していると、携帯電話の探索ができません。ホーム画面で CASIO WATCH+のアイコンをタップして起動してください。

上記以外

数秒待っても携帯電話が反応しない場合は、携帯電話が離れた場所にあることが考えられます。場所を変えて携帯電話の探索をお試しください。

### Q2 携帯電話が反応するまでに時間がかかる

時計と接続ができてから携帯電話の音が鳴るので、接続するまでには数秒かかります。

### Q3 近くに携帯電話があるのに探索ができない

電波で通信しているため、2m 以内でも探索できない場合があります。周囲の環境によっては、通信可能距離が極端に短くなる場合があります。

## 自動時刻修正機能 (Time Adjustment)

### Q1 携帯電話の時刻とどのタイミングで合わせるのですか？

時刻合わせのタイミングは、午前 12 時半頃、午前 6 時半頃、午後 12 時半頃、午後 6 時半頃で、それぞれの時刻になると自動で接続して時刻が合います。時刻合わせが終了すると自動で接続が解除されます。

### Q2 自動修正の時刻になっても時刻が合わない

時刻合わせのタイミングが遅れていますか？

都市の時刻を入れ替えたり、手動で時刻を合わせたりすると、それから 24 時間は自動時刻修正が起動しません。これらの操作の後、24 時間経過すると自動時刻修正が機能するようになります。

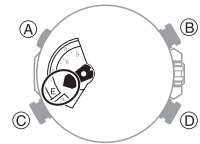
自動時刻合わせは有効になっていますか？

自動時刻合わせを無効にしていると、時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。時計と携帯電話を接続し、CASIO WATCH+で自動時刻合わせを有効にしてください。

☞ [病院内、飛行機内で使うとき](#)

時計は十分に充電されていますか？

レトログラード針が「E」を示しているときは、携帯電話と接続できません。時計を充電してください。



ストップウォッチが計測中ですか？

ストップウォッチが計測中のときは、自動時刻合わせのタイミングになっても時刻合わせを開始しません。計測を止めてください。

### Q3 正しい時刻が表示されない

携帯電話が圏外の状態になっているなどでネットワークに接続していない場合は、携帯電話の時刻が正しくない可能性があります。その場合は、携帯電話をネットワークに接続して時刻を合わせてください。

## ワールドタイム

### Q1 設定したワールドタイム都市の時刻がずれている

タイムゾーンやサマータイムの制度が変更になった可能性があります。

### Q2 現在地(ホーム都市)の時刻とワールドタイム都市の時刻の入れ替え後に、ワールドタイムの時刻がずれている

CASIO WATCH+で、ワールドタイム都市を設定してください。

## アラーム

### Q1 アラームが鳴らない

時計は充電されていますか？

充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する(ソーラー充電)

りゅうずは元の位置に戻っていますか？

りゅうずを引いた状態ではアラームが鳴りません。りゅうずを押して元の位置に戻してください。

アラームは鳴る設定ですか？

アラームの設定をオンにしてください。

☞ アラームのオン/オフを切り替える

## 針の動きと表示

### Q1 現在の表示モードがわからない

時計がどのモードになっているかは、モード針の位置で確認できます。

☞ モードを切り替える

- A ボタンを約 2 秒間押し続けると、カレンダーモードになります。



### Q2 針が速く動いているときに、ボタンを操作できない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、モード切り替え以外のボタン操作ができません。針が止まってから操作してください。

### Q3 秒針が 2 秒ごとに動いている

充電量が不足しています。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する(ソーラー充電)

### Q4 すべての針が 12 時位置で停止し、ボタン操作ができない

充電切れです。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する(ソーラー充電)

### Q5 突然、針の動きが速くなった

以下の原因の場合は故障ではありません。通常の動きに戻るまでお待ちください。

- パワーセービング機能が解除され、復帰している。

☞ 節電(パワーセービング機能)

- 携帯電話と接続して時刻を修正している。

☞ 時計の時刻を自動で合わせる

### Q6 針の動きが止まり、ボタン操作ができなくなった

充電回復モードの状態です。回復するまで(約 15 分間)お待ちください。明るい場所に置いて充電すると早く回復します。

### Q7 時刻と日付の位置が合っていない

強い磁気や衝撃の影響で針や日付の位置が合っていないことがあります。針や日付の位置を補正してください。

☞ 針や日付の位置を補正する

### Q8 時刻は合っているが、日付が中央に表示されていない

日付を更新中です。日付の更新に関しては、以下をご確認ください。

☞ 針と日付の動き方について

## りゅうずの操作

### Q1 りゅうずを回しても何も操作できない

りゅうずを引いたまま 2 分以上(針や日付の位置を補正している場合は約 30 分間)何も操作しないと、操作が効かなくなります。りゅうずをいったん戻した後、再度引いてください。

☞ りゅうずを使う

### Q2 りゅうずの操作ができない

時計の設定を変更した後などで針が動いているときは、りゅうずの操作ができません。針が止まってから操作してください。

## 充電

### Q1 光に当てても操作できない

充電切れになると操作できなくなります。充電量が回復するまで光を当ててください。

☞ 充電する(ソーラー充電)